

問 8 会話文読解

(本文の日本語訳)

7月のある朝、ユミコとビルが教室で話しているとき、彼らの英語の先生であるカトウ先生が教室に入ってきます。

ユミコ：おはようございます、カトウ先生。

カトウ先生：おはようございます、ユミコ、ビル。あら、君は眠そうですね、ビル。

ビル：昨夜はぐっすり眠れなかったのです。昨日、ほくの部屋のエアコンが故障してしまったのです。

カトウ先生：それは大変でしたね。昨夜はほんとうに暑かったです。私はめったに家でエアコンを使わないのですが、昨夜は使いました。

ビル：夏はぐっすり眠るためにエアコンが必要だと思います。エアコンの仕組みはよく知りませんが、エアコンを使うことでほんとうに涼しく感じることができます。

カトウ先生：ああ、私はその仕組みを知っています。とてもおもしろいですよ。

ユミコ：ほんとうですか？ それについて私たちに話してください。

カトウ先生：いいですよ。

カトウ先生は黒板に図を描きます。

カトウ先生：知つてのとおり、エアコンには室内機と室外機の2つの装置があります。それらは長いパイプで接続されています。パイプと2つの装置の中では、冷却剤が循環しています。冷却剤はとても重要です。理科の授業で熱について学びましたか。

ビル：はい、学びました。でも覚えていません。

カトウ先生：熱は温かいところから涼しいところへ移動します。では、冷房機能について話します。もし部屋の中の空気の温度が室内機の中の冷却剤の温度よりも高いならば、熱は部屋の中の空気から冷却剤へ移動します。すると、冷却剤が熱を吸収して、部屋の中の空気は涼しくなるのです。

ユミコ：そうなのですか？ エアコンから出る風によって涼しくなるのだと思っていました。

ビル：ほくも同じです。

カトウ先生：なるほど、でも風によってではありません。熱を吸収したあと、冷却剤は室外機へと進みます。室外機では、冷却剤の温度は外の空気の温度よりも高いので、熱は冷却剤から外の空気へ移動します。すると、冷却剤は涼しくなって、再び室内機へと進みます。これが、冷房機能を使ったときのエアコンの仕組みです。

ユミコ：おもしろいですね。私はよくエアコンを使いますが、その仕組みを知らませんでした。ところで、今はエアコンがありますが、昔はありませんでした。人々は夜に涼しく感じるために何をしたのですか？

カトウ先生：よい質問ですね。多くの方法があったと聞いています。そのうちの1つは怪談を聞くことです。怪談を聞いているとき、涼しく感じますよね？

ユミコ：その通りですね。私は怪談が好きで、夏によく聞きます。ビル、今晚は怪談を聞いてはどう？ 涼しく感じられるよ。

ビル：えー、いやだよ。ほくはそういう話が好きじゃないんだ。